

2023スカウトキャンプin大自然のひろば 2023/8/10-13 3泊4日

横浜11団の団キャンプ、5月から4回の下見をして各隊（ビーバー、カブ、ボーイ）大自然のひろばを生かしたキャンプを計画してくれました。大自然のひろば提供プログラムは唐松の伐採、世界のスカウティング紹介（プレゼンテーション）、ビーバー向けのグリーンウッドワーク（ネームスティックと丸太切り）などです。キャンプ場東側に「ファイヤーピット」を設置して直火が出来る場所を設置しました。緩やかなアリーナとステージも作り、今までにないキャンプファイヤーが出来るようになりました。入場前の準備としてはチェーンソーの点検（目立て、始動、整備）ザイルや滑車などの点検と整理、グリーンウッドワークの彫刻台作成、樹木の採取、プレゼンテーションのリハーサル、キャンプ場及び週車上の草刈りなどでした。宿泊施設やトイレの清掃備品の点検。貸出日品の点検と整備などを、4日～はじまったグリーンウッドワーク合宿の間に朝の時間を利用して実施しました。完全に準備が完了したのは8/8朝。

日程	Cabin			Camp			
8月10日から	大人	学生	小学生	大人	学生	小学生	1日単位の料金 学齢前は無料
下見 5/5	5						
下見 5/20	10						
下見 6/10	11						
下見 7/8	8	1					
下見 7/9	4	1					
1日目 8/10	11	1	11	11	10	3	
2日目 8/11	15	3	11	11	11	3	
3日目 8/12	20	3	15	10	12	3	
4日目 8/13	20	3	15	9	12	3	
							以下合計
利用人数合計	104	12	52	41	45	12	266

8月10日（木） 1日目 5時起床 18℃ 23℃ くもり

予定では11時までに到着予定でしたが、お盆の渋滞で遅くなると予測して午前中はログハウスの整備を行うことにしました。玄関の屋根に貯まっている唐松の葉と枝を、レイキで下に落としてトヨの掃除と縦トヨが詰まらないように「網」を設置。作業は60分ほどで完了。





最終の名簿を受領。11団は7時に集合して大型バスで、関越道―上信越道―下仁田IC下車国道254号線で内山大橋群馬側の「骨董市場 丸よし」駐車場で下車、徒歩で大自然のひろばなど来る予定でしたが、渋滞で予定の倍近い6時間かかってしまい。大自然のひろばに到着したのは13時30分（乗用車でピストン輸送）でした。



入場式は14時30分から中央広場で実施。その後、私が場内を案内して各施設の説明を行いました。



スカウト・指導者・団関係者それぞれに設営を開始。貸し出し備品などは下見で確認しているので必要な物を倉庫から持ち出し。





場内の案内をしていたところ、木工作業所に今年も深山クワガタが来てくれました。昨年のスカウトキャンプ（東京港5団）でも初日に、体長12cmの大型も個体が現れました。今年は10cmほどで、少し小さかったですが、立派な深山クワガタです。スカウトに紹介して唐松に逃がすと、どんどん木を登っていきま

した。
16時には温泉（一万里）と買い出し（ツルヤ）に外出。帰ってから、各サイトを確認したところ、ロケットストーブの使用方法が間違っているのと、火ふき棒を使用していないので指導者に確認して、正しい方法をスカウトに教えるするように依頼。カブ隊は念願の「デンづくり」



自然の樹木を使ってこれから2日間西側の森で各組のデンを作ります。

ボーイ隊は各班のサイトを設営していました。班長が世界ジャンボリーに参加しているのですが、経験が無くてもみんなで協力すれば、何となくサイトは出来ていきます。

軟らかい草地なので寝心地も良いでしょう。



ホールの玄関前にマーキーテントを設置して、カブスカウト用の食堂を作りました。計画通りに18時には夕食開始、団委員と保護者の協力で炊き出しも順調です。兜岩山が輝いています。



夜のプログラムは「星座観測」大自然広場にある天体望遠鏡と双眼鏡で夜空の星をとらえています。丁度、ペルセウス座流星群が活発な時期で、流れ星を見たスカウトもいたようです。横浜の空とは違い、満天の星空にスカウトたちは、感動していました。



スカウトのキャンプは会議が多く23時まで、ログハウスに泊まる指導者が帰ってきません。仕方ないのでそれまでの時間、グリーンウッドワークの整理をしたり、本を読んだり夜更かししてしまいました。

8月11日（金） 5時20分起床 17℃ 23℃ 曇のちはれ 昨夜降水あり

右足の腫れが少し治まる。今日は9時30分から唐松の伐採をスカウトと協力して行うので朝食後にチェーンソー・ウインチ・ザイル類などを倉庫から出して点検。エンジンを始動して燃料とチェーンオイルを満タンにする。伐採する唐松から滑車を架ける木を選定して、滑車とウインチを設置する。これは時間短縮のために予め準備しておく。



樹木の伐採はとても危険な作業なので、事前に伐採の仕組みを説明して、実際にチェーンソーをスカウトに運ばせてその重さやチェーンの鋭さなどを体験させる。



服装についてもズボンや上着がもしも、チェーンが当たって

もケガをしない素材で、安全靴ヘルメットと手袋なども安全基準を満たした物を着用していることを説明した。チェーンソーは予備を含めて3台準備して、万が一の故障や事故に備えている。伐採の祭に危険な場所も説明、ザイルの作る三角形の中には入らないこと、伐採方向の延長線上にも止まらない事など。現場では見学する場所を指定して、決して前に出ないことを説明した。



現場にチェーンソーや道具を運搬して、伐採する人の立ち位置や、ザイルをウインチで引く要領。伐採方向に向かう受け口、追い口、の角度を説明。

カブ隊は中央広場側から、ボーイ隊はキャンプ場東側から見学するように指示して、伐採開始。昨日、研いだチェーンは良く切れて5分ほどで伐採完了、大きな音と共に樹高26m、太さ1.6m、樹齢46年の大木が予定の報告に倒れた。もちろんけが人は無く、スカウトたちは驚きと感動で大きな拍手をしていた。準備は60分、玉切りと枝払いや運搬に180分伐採した後始末が大変です。



唐松はとても素直な年輪で、南側に太く北側に詰まったような成長の仕方でした。玉切りにした丸太はグリーンウッドワークの道具づくりや、薪として活用します。中段から先の10mはツリーハウスを作る際に柱として活用するつもりです。

9時頃に到着する予定だった増田理事が、お盆の大渋滞で（5時に出発）12時半ごろに到着大変お疲れの様子です。唐松の玉切りで大汗をかいたので、シャワールームで水浴び、着ていたズボンや上着も汗でびしょりなので、天日干し。午後は少し休憩して早めに温泉へ行くことにした。ツルヤで買い物して山荘に帰ったのが18時。今夜はボースカウト向けに「海外のスカウティング」を紹介するプレゼンテーションを行うことになっているので、夕食はその後にする。

55年間のスカウト活動で、海外派遣事業は12回実施してきた体験と、世界ジャンボリー、世界会議などのイベントへの参加とその目的など、ボーイ年代にわかりやすく説明する必要がある。私の得意分野なので特に緊張することも無い。19時から20時ホールにて実施。



私の出身団は横浜1団、横浜11団はそこから分封した団でその中心人物が、写真左のハットをかぶっている岡平吉氏。1団でCS隊長をしていた。私の隊長でした。この頃の横浜1団はCS隊、BS隊供に2コ隊編成で、11団、111団、84団を分封していた、今では考えられないような大きな団体でした。11団の指導者もこの写真を見たのは初めてだったようです。高森は左写真の下段右端です。（当時10歳で組長）並んでいるスカウトも組長で5組編成です。今はいないデンスターが左端の若い女性です。プレゼンテーションは60分で予定どおり終了。



今夜の夕食はスタミナ付けるために鰻とナスの煮浸し、トマトとミョウガのピクルス枝豆にビールを頂きました。これで、明日からも頑張れます。

今夜も満天の星で天の川まで見えていました。森の中も静でした。

心配していたホールの水が無くなりました。天気が良くて雨が降りません。夕立や夜だけでも雨が降れば良いのに、なかなか自然は思い通りにならないものです。

8月12日(土) 5時起床 16℃ 23℃ はれ

ログハウスの住人が日に日に増えていく、初日は2人、翌日4人、今日から6人でもまだ快適です。今日はビーバースカウトの入場があるだけで、大自然のひろば提供プログラムは無いので時間に余裕があります。そこで、唐松の整理(後始末)を早朝に行い、チェーンソーの清掃と整備、倉庫への収納と整理、ザイル類の乾燥と収納、撤収にむけた荷物整理、ゴミ処理などを行います。



朝食はパン、サラダ、キーマカレー、スープ、ヨーグルト、牛乳。体力と体重が落ちないようにかなり豪華なメニューです。



日が高くなる前に唐松の丸太を皮むきします。伐採した直後は水分が多く、つるりと皮がむけてとても綺麗です。この状態で乾燥させて、薪割台にするつもりです。

グリーンウッドワークで残った材料を乾燥させないために、木口にボンドなどを塗って保護します。倉庫に保管した栗の木から水分が出てきて床



にシミを作っていました。倉庫に保管する物と自宅に持ち帰る分を仕分けして処理を行いました。



昨年ブッシュクラフトで椅子を作りました。もう一台作る予定だったので、側道の西側の森に入り、1.5mの枝を3本、1.2mの枝を1本切り出して3本の枝をロープで組み合わせ、紺色の布を付けて、椅子を組み立てて二台並べて置くと、子どもたちが来て、おそるおそる座っていきます。そうすると、「おォ〜」と声を発して今度は違う子どもが座り、椅子の周りに集まって取り合いになります。身体に合わせて、リクライニングしたり広げたり色々試していました。



グリーンウッドワークで残った栗材をニマ（アイヌ語で皿）にすることにしました。増田さんに作り方を説明して、丸のみとマレットで半割りした、栗の木を削ります。深さ3cmぐらいになったら、その部分を斧で船の形に削り、内側をフックナイフで仕上げるとニマの出来上がり。車にキーやちょっとした小物を入れたり、ナッツ類の小皿にしたり使い道は多様です。



11時30分ビーバー隊が大自然のひろばに到着、ますます賑やかになります。



昼食は蕎麦にキュウリ、トマト、卵、ミョウガ、刻みのりをのせてボリュームたっぷりです。美味しく頂きました。

午後からは団関係者がファイヤーピットに営火の薪を積んで準備を始めました。カブスカウトはデングづくり、そしてスカウト合同のプログラムが開始されました。

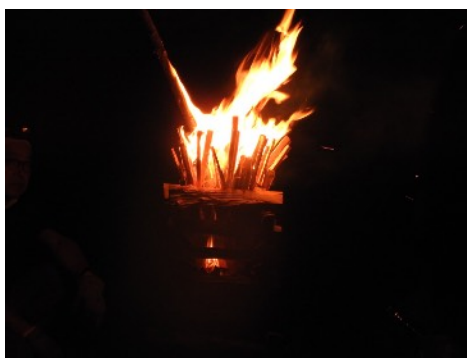




ツイスト、滑車で滑り降りる、沢遊び、ブランコなど子どもたち手作りの創造的で楽しい合同プログラム



16時には温泉、買い物と毎日のルーティーン、今夜は営火なので団関係者は忙しき働いています。陽が落ちて辺りが暗くなる19時30分から開始され、私と増田さんも、ファイヤーピットまで誘導するランプに沿ってゲストとして会場に入りました。歌やスタンツ、踊りなど満天の



星空の元みんな楽しく、そして感度の営火でした。最後の熾火まで美しく印象的です。

8月13日(日) 18℃ 23℃ はれ

増田さんは渋滞を避けて、5時15分に横浜へ向けて出発。スカウトたちは前日の合同プログラムや営火で疲れているはずですが、朝から大きな笑い声で元気に遊んでいます。「ここでは大声出しても怒られない」・・・都会の公園では大きな声を出すと迷惑だと思われるのが、とても悲しいですね。

ボーイ隊、カブ隊、団関係者は朝食後からキャンプの片付け作業（撤収）ビーバースカウトは大自然のひろばが提供するグリーンウッドワークを行います。ネームスティックと丸太きりです。

木工作業小屋に集合して、ナイフを使って小枝を削る方法を一緒に体験します。初めて使う道具なので、最初は削る動作を両手の人差し指で体験してから、ナイフ（小刀）で、太めの枝を削ってみます。そして、昨日森から切ってきた葉っぱのついた2m（4本）ほどの枝だから、自分が使いたい場所を見つけて、ノコギリで切り出します。



削った枝に名前や絵を描いて、ドリ（4mm）で穴を開けて、ひもを通せば出来上がりです。1人、2本から3本削って、次は「丸太切り」。

ログハウスの前で、丸太切り用のウマに乗せた丸太をノコギリで切ります。初めてノコギリを使うので、刃物を持つ手には手袋をしない。ノコギリは引くときに切れる、大鋸屑が出ているときに切れているなど、少し説明したらスカウトは直ぐに作業を始めました。材料はクリ、樫などです。



コースターのように切れた材料に絵を描いたり、大自然のひろばで出会った昆虫を描いたり、アニメのキャラクターを描いたり、スカウトは夢中になります。そして、もう一つ作るとい言葉で、それぞれがいくつもの丸太を切り、それに絵を描いて楽しんでいました。

一人1人個性があり、切り方も慎重派、がむしゃら派、優しく切る子。子どもを観察して、その子に中にある性質が見えてくるようでした。9時から（10時45分まで）

撤収作業が遅れて（予定どおりには進まない）１１時に予定していた退場式は６０分遅れ中央広場でセレモニーが行われて、１２時２０分にスカウトがバスの待つ駐車場へ向かいました。その頃に、使用した施設の点検を行い、ログハウスで会計作業。

全員退場したのは１３時２０分。その後、道具類の確認、施設の施錠、荷物の積み込みを行い松田に向けて１４時出発。スカウトキャンプ終了です。



2023/8/26

夏季キャンプ提供プログラムへの感想とアブ・健康被害について感想と報告
ボーイスカウト横浜第11団

①水には苦勞されたことと思いますがスカウトは水の大切さを身をもって学んだキャンプだと思っています。スカウトの感想があればお知らせ下さい。(指導者もご意見あれば)

● 「安全な飲料水を確保することが課題でしたが、ガソリンスタンドの店員さんのご厚意で確保できたこと、本当に感謝しかありません。」「あらためて、御礼の手紙を出したいと思います。」

●BS隊では、隊長の発案で、食器等の汚れを取るのに米ぬかを大量に準備していただいていた。た。

スカウトは、ラップの使用を好み、ほとんど使用していなかったようですが、隊指導者は全員ほぼ毎回米ぬかを使用しました。個人的にはたいへん気に入って、何人かの方にはお勧めさせてもらいました。ラップや袋をかけるのと違い、口当たりよく食事でき、団子になった米ぬかは、すべて燃やしたのでゴミも減らしました。

デメリットとしては、汚れを完全に取りろう(特に油)とすると、多少団子にするのに時間がかかる点(3分くらい?) でしょうか。また、より清潔感を大事にされる方には、何となく汚れが落ち切っていないように感じられるかもしれません。米ぬかを手に入れる工夫も必要です。

汚水用バケツの水がこんなに汚れなかったことは初めてです。炊事による水の汚れについて再認識しました。

水が手に入る場所でのキャンプであっても、いろいろ工夫して出来るだけ汚水を減らす努力をしていこうと思いました。

●<BVSスカウト>

- ・どっぼんトイレが怖かった
- ・楽しかった
- ・スタンプで水の大切さを学んだ
- ・手が汚れた時に水で洗いたかった

<BVS保護者>

- ・手や顔を洗ったりはできると思っていたので少々戸惑いがあった
- ・たった2日間だが、蛇口をひねったら水が出ること、飲める水が出る環境のありがたさを身をもって体験できたのは貴重、忘れることはできない経験となった

<BVS指導者>

- ・手を洗う水がなかったことは不便に感じた
- ・飲み水について団委員や保護者の皆さんのお陰で全体的に不便さを感じなかった
- ・家に着いてすぐにお風呂に入り、これまでの疲れや汚れもあり、非常に気持ちよかった
- ・改めて蛇口をひねって出てくる水のありがたさを感じた
- ・自宅で節水のための雨水タンクを設置をしているのだが、水やり洗車に活用をしていきたい
- ・キャンプでタンク水の生活は経験あるが、ここまで水が汲めないのは初めてで貴重な経験だった

- ・トイレ後や食事前の手洗いなど、衛生面の部分はせめて水が使えると良かった
- ・リアルビーバーダムで水を溜める大変さも知ることができた
- ・スカウトたちのスタンプで水の大切さがしっかりわかっていることを知ることができた

・当たり前の事だと思っていた水の有り難さが感じてもらえた (BVS隊)

団委員の野営生活用のポリタンクまたはペットボトルが必要でした。食器は野営ではいつも紙で拭いています。美味しい食事を作って頂き、美味しいコーヒーを頂いたので恵まれていました。何度も水汲みに行っていただいた、皆さん、お疲れ様でした。時間が許せば、水汲みの苦労もスカウトに体験させたかったところです。

②大自然のひろばが提供したプログラム、(A)伐採、(B)世界のスカウティング、(C)グリーンウッドワークなどについてもスカウトの感想、指導者の感想などをまとめてお知らせ下さい。

●「(A)のみ見学しましたが、なかなか実際に目の当たりにできないシーンを見られてよかったと思います。」「見学者全員が歓声を上げていましたね。」

●(C) グリーンウッドワーク

<BVSスカウト>

- ・のこぎりで切るのが楽しかった
- ・楽しかった
- ・丸太をのこぎりで切るのは大変だったけれど、2回も出来たし楽しかった
- ・小刀はなかなか上手くできなかった
- ・木に絵を描くのは楽しかった

<BVS保護者>

- ・のこぎりやカナヅチは幼稚園でも先生は口だしせずにやらせてたことを思い出した
- ・親が口出しし過ぎではだめだと改めて感じた

<BVS指導者>

- ・自分で作る楽しさが体験できて良かった
- ・ナイフをスカウト1人で扱わせるについて、安全面を考えるとどうかと考えてしまう
- ・伐採：木が倒れる迫力、こうやって家が作られているのかと考えた。
- ・丸太が重くてびっくりした
- ・『安全対策』を求められ、ビーバースカウトには冒険出来なかったこと、やり方次第でできると思った
- ・楽しい活動は危険と背中合せ、怖がらずにやれるように工夫していきたい
- ・口や手を出さなくてもできること、注意するのではなくまずはやらせること、さりげなく誘導すること（を学んだ）

(A) 伐採は貴重な経験をさせて頂き感謝したい。但し、自分を含め監視員の配置が十分でなく、退避指示が間際になり・退避距離も十分と言えなかったことは反省すべき点と考えている。一方で、切った丸太を活用し、退場時まで乾燥小屋まで運び入れることが出来て良かった。協力頂いたリーダー・スカウトに感謝したい。

(B) 世界のスカウティング 映像中心にまとめて頂き解りやすくまとめた資料でしたが、疲れた夕食後のスカウトには座学は厳しかったかも知れません。聞いていたスカウトには、この活動で世界と繋がるチャンスがあることが、少しはイメージできたと思います。

(C) グリーンウッドワーク：不参加

(A) 貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

- ・ロープを張ってくれたスカウト2人、RS1人について少々ヒヤリとしたので、退避場所をもう少し明確にしておくべきでした。
- ・各自簡単に計測していましたが、あの高さのものが実際に測れることは少ないので、普段の計測のように競技性を持たせてもよかったかと思いました。

・伐採後の倒木周辺のリスク（枝落とし時）についてご注意いただきありがとうございました。
木の重量感は見誤りやすいと痛感しました。

・専門的な作業のためスカウトの出番が少ないかもと勝手ながら思っていたましたが、要所要所で体験や協力を仰いで頂き、視覚的にもインパクトがありましたのでスカウトの記憶に強く残ったのではないかと考えています。

（B）夕食準備での疲労、ロッジ内の快適な環境で一部スカウトはダウンしており申し訳ございませんでしたが、班長たちがまさに世界ジャンボリーに参加している状況もあり、より身近に世界のスカウティングを感じることができたように思います。ありがとうございました。

③アブの被害件数(各隊、団委員)氏名不要

● 「手のひら、指、手の甲に数カ所刺されましたが、軽傷でした。」

● 牛アブに7カ所刺されました。

● アブに3箇所刺されました。

● <BVSスカウト>・虫刺され(アブ?)が1カ所、薬で治まった 1名

● 多少の虫刺されはあったかと思いますが、アブ被害はBS隊からはなかったと思います。

BSサイト側はロッジ側より少なめな印象で、一方キャンプ終盤には蜂が頻繁に出現していました。（刺されてはいないです。）

④傷病者の記録(水ぶくれに至らない火傷、トゲが刺さった等の軽微なものは正確な件数は不要ですが、件数が多いものはその旨(ほぼ全員とか)記載下さい。

● ※特段の報告なし

● <BVSスカウト>

・手のひらや手の甲に木の皮のトゲがささった。2名

・帰宅後嘔吐、車酔い&疲れと思われ、すぐに正常に戻った…1名

<BVS保護者>特になし

<BVS指導者>特になし

その他、キャンプ全体の意見、感想

● <BVS隊>

・スカウトも無理なく過ごせるプログラムだった

・縦割りの活動ではたくさんのスカウト、リーダーなどと交流出来て良かった

・いつもとは違う環境で活動する姿を見て嬉しかったし、成長を感じた

・ごはんがとても美味しかった

・トイレ掃除の際に手袋が欲しかった

・来年も是非参加したい

・キャンプに関わった全てみなさまありがとうございました

・大自然の中での活動でとても、楽しかった

・事前の下見の時、高森さんの「キャンプは目的ではなくて手段だ」という話、身をもって体験できて、人のコミュニケーションや関りから得られる学びが、本当の目的なのだと、感じた。

・一般的なキャンプBBQやビールはなく、スカウト活動でしか経験できない最高のキャンプになった

- ・あまり準備にかかわれずに恐縮です、皆様ありがとうございました
 - ・キャンプ場は非常に良かったし、また行きたいと思ったが、遠すぎて移動時間がネックだ
 - ・ビーバーは1泊、活動時間に対して移動時間の割合が多く、体力的にも厳しい
(みんな、ポジティブに前向きに取り組めていたので良かったが…)
 - ・もう少し近場で環境が良いところがあるといいのだが…。
- スカウトの笑顔・歓声・成長と素晴らしい作品が見られました。また、お天気に恵まれて、星空と夕焼けに映える山、涼しくて最高のキャンプ場でした。

以上。